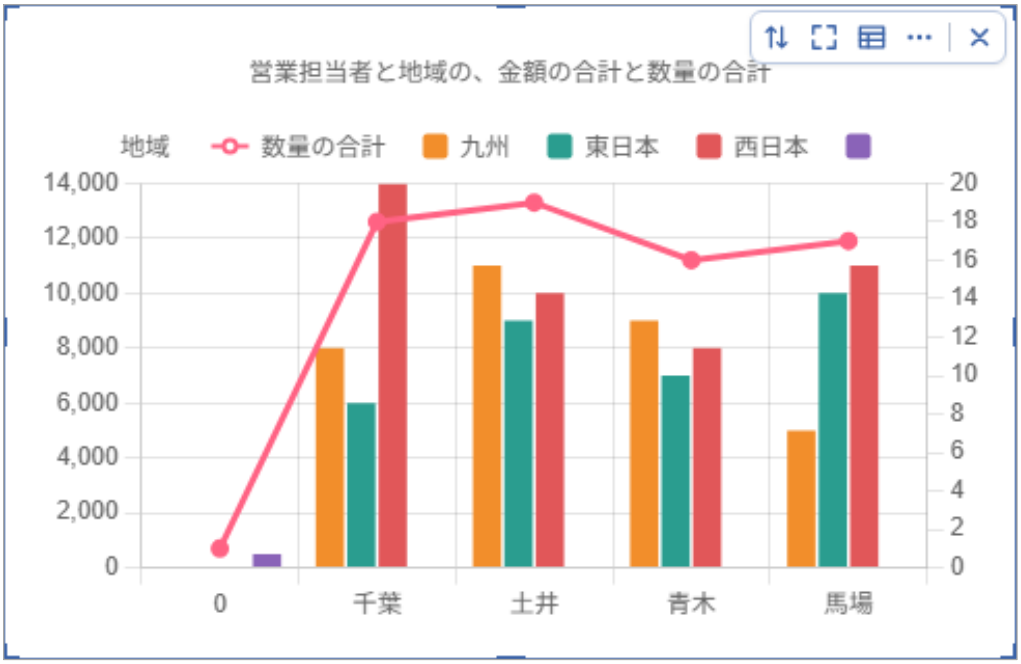
折れ線グラフと集合縦棒グラフ

グループごとに集合縦棒と折れ線を重ね、2つの値を左右の目盛りで表示する

◇機能

「折れ線グラフと集合縦棒グラフ」は、「X軸」のフィールドの値（グループ）ごとに、「第1Y軸」の値を縦棒で、「第2Y軸」の値を折れ線で、1つのチャートに重ねて表示するチャートです。縦棒は「カラム凡例」の値ごとに分けて横に並べます。縦棒は左の目盛り、折れ線は右の目盛りで表示されるため、金額と数量のように大きさや単位の違う値を比較できます。

例：売上データの「金額」を「地域」ごとに並べた縦棒（第1Y軸・カラム凡例）と、「数量」の折れ線（第2Y軸）を、「営業担当者」ごと（X軸）に表示します。



※「第1Y軸」「第2Y軸」の値は、フィールドの集計（合計・平均など）で計算されます。元のテーブルは変更されません。

※グループの並び順は、指定しない場合は「X軸」の値の順（文字コードの順）です。値が空のグループは先頭に表示されます。

※「カラム凡例」で分けられるのは縦棒だけです。折れ線は、グループ全体の値で表示されます。

◇メニュー

《プロジェクト》-《チャート》でチャート画面を開き、「ビジュアル」タブの《折れ線グラフと集合縦棒グラフ》アイコンをクリックします。

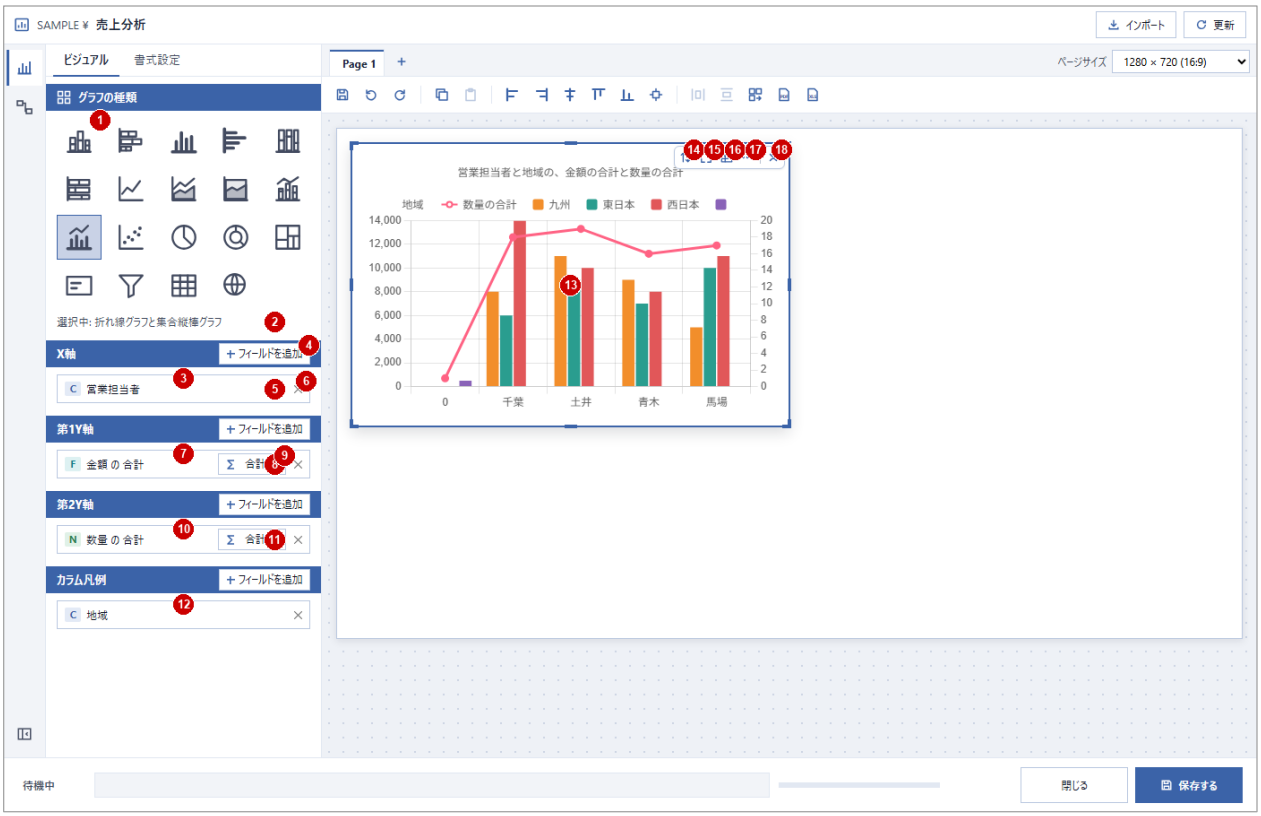
※チャート画面の共通の操作（テーブルの追加・ページ・保存・エクスポートなど）は、「チャートの作成」を参照してください。

※ほかの種類のチャートを選択して《折れ線グラフと集合縦棒グラフ》アイコンをクリックすると、設定したフィールドのまま、このチャートに変わります。

© 2026 SanKei Biz Consulting, Corp.

◇設定内容

■「ビジュアル」タブ



1. チャートの種類　：《折れ線グラフと集合縦棒グラフ》が選択されています。別のアイコンをクリックすると、チャートの種類が変わります。

2. 選択中の種類　：選択しているチャートの種類の名前が表示されます。

3.「X軸」（グループ）　：縦棒と折れ線の点を分けるフィールドです。値ごとに1組の棒と1つの点になります。

- 文字・数値・日付のどのフィールドでも使用できます。集計はされません。
- 2つ以上のフィールドを追加すると、値の組み合わせごとのグループになります。

- 日付のフィールドは、年・年月などにまとめて表示できます（フィールドをクリック）。

4.《フィールドを追加》　：フィールドを選択する画面を開きます（各軸にあります）。

5. フィールド　：軸に追加したフィールドです。先頭の文字はフィールドの種類（C：文字、F：数値、D：日付）です。

- ドラッグで、ほかの軸への移動や、順番の入れ替えができます。同じ軸に同じフィールドは追加できません。

6.《×》　：フィールドを軸から外します。

7.「第1Y軸」（縦棒）　：縦棒の高さになるフィールドです。値を集計し、左の目盛りで表示します。

- 2つ以上のフィールドを追加すると、フィールドごとの棒が横に並びます（「カラム凡例」が空の場合だけ）。
- 「第1Y軸」「第2Y軸」の一方だけでも表示できます（縦棒だけ・折れ線だけになります）。

© 2026 SanKei Biz Consulting, Corp.

8. 値のフィールド　：「金額 の 合計」のように、フィールド名と集計の方法が表示されます。

9. 集計の方法　：クリックして、集計の方法を選択します（「第2Y軸」も同じです）。
- 数値のフィールド：「合計」（初期値）「最小値」「最大値」「平均」「件数」
- 文字・日付のフィールド：「件数」だけ（初期値）

10.「第2Y軸」（折れ線）　：折れ線の点の高さになるフィールドです。値を集計し、右の目盛りで表示します。
- 2つ以上のフィールドを追加すると、フィールドごとに1本の線になります。

11. 折れ線のフィールド　：「数量 の 合計」のように、フィールド名と集計の方法が表示されます。

12.「カラム凡例」（任意）　：縦棒を分けて横に並べるフィールドです。値ごとに色の違う棒になり、チャートの凡例に値が表示されます。
- フィールドは1つだけ追加できます。
- 「第1Y軸」に2つ以上のフィールドがある場合は使用できません。

13. チャート　：上部をクリックで選択、ドラッグで移動、周りの点で大きさを変更します。棒・点・凡例をクリックすると、同じページのほかのチャートで、その値の部分が強調表示されます。

14.《軸の並べ替え》　：グループを、「X軸」の値、または「第1Y軸」「第2Y軸」の値の順に、昇順で並べ替え・降順で並べ替えで並べ替えます。

15.《フォーカスモード》　：チャートを大きく表示します。もう一度クリックすると元に戻ります。

16.《テーブルとして表示する》　：チャートの元になる集計結果を表で表示します。

17.《…》　：「画像エクスポート」「データをエクスポート」を選択します。

18.《×》　：チャートを削除します（「チャートを削除しますか？」の確認があります）。

© 2026 SanKei Biz Consulting, Corp.

■「書式設定」タブ：「X軸」

グループのラベル（横軸）の表示を設定します。



19.「ラベル」　：グループのラベルを表示します（初期値：オン）。

20. フォント・文字の大きさ・B／I／U・色　：ラベルの文字の書式です（初期値：Arial、12）。大きさは8～60です。

21.「回転」　：ラベルを0～90度の範囲で傾けます（初期値：0）。

22.「最大高さ」　：ラベルを表示する高さの上限を、チャートの大きさに対する割合（15～40%）で指定します。長いラベルは「…」で省略されます（マウスを合わせると全体が表示されます）。

23.「タイトル」　：横軸のタイトルを表示します（初期値：オフ）。オンにすると、フォント・大きさ・色を設定できます。

24.「テキスト」　：軸のタイトルの文字です。空欄の場合は、フィールド名が表示されます。

25.「セパレータ」　：グループの間の縦線を表示します（初期値：オン）。

26.「タイプ」・色・「幅」　：線の種類（「ソリッド」「破線」）・色・太さ（0～4）です。

27.「位置」　：ラベルを表示する位置（「ボトム」（初期値）「トップ」）です。

28.「最大要素数」　：一度に表示するグループの数（20～100、初期値：20）です。グループがこれより多い場合は、チャートをスクロールして表示します。

※数値の項目に範囲外の値を入力した場合は、その値は使用されず、チャートは変わりません。

© 2026 SanKei Biz Consulting, Corp.

■「書式設定」タブ：「Y軸」

縦棒の目盛り（左の縦軸）の表示を設定します。



29.「ラベル」　：目盛りの数値を表示します（初期値：オン）。

30. フォント・文字の大きさ・色　：目盛りの文字の書式です（初期値：Arial、12）。

31.「回転」　：目盛りの文字を0～90度の範囲で傾けます。

32.「表示単位」　：目盛りの数値の単位（「デフォルト」「千単位」「百万単位」「十億単位」「兆単位」）です。

33.「小数点」　：小数点以下の桁数（0～6）です。空欄の場合は自動です。

34.「タイトル」　：縦軸のタイトルを表示します（初期値：オフ）。

35.「テキスト」　：軸のタイトルの文字です。空欄の場合は、フィールド名が表示されます。

36.「セパレータ」　：目盛りの横線を表示します（初期値：オン）。

37.「タイプ」・色・「幅」　：線の種類（「ソリッド」「破線」）・色・太さ（0～4）です。

38.「最小値」　：目盛りの最小値です。空欄の場合は自動です。

39.「最大値」　：目盛りの最大値です。空欄の場合は自動です。最大値を超える部分は表示されません。

40.「位置」　：目盛りを表示する位置（「左」（初期値）「右」）です。

© 2026 SanKei Biz Consulting, Corp.

■「書式設定」タブ：「第2Y軸」

折れ線の目盛り（右の縦軸）の表示を設定します。左の目盛りとは別に設定できます。



41.「ラベル」　：右の目盛りの数値を表示します（初期値：オン）。

42. フォント・文字の大きさ・B／I／U・色　：目盛りの文字の書式です（初期値：Arial、12）。

43.「回転」　：目盛りの文字を0～90度の範囲で傾けます。

44.「表示単位」　：目盛りの数値の単位（「デフォルト」「千単位」「百万単位」「十億単位」「兆単位」）です。

45.「小数点」　：小数点以下の桁数（0～6）です。空欄の場合は自動です。

46.「タイトル」　：右の縦軸のタイトルを表示します（初期値：オフ）。

47.「テキスト」　：軸のタイトルの文字です。空欄の場合は、折れ線のフィールド名が表示されます。

48.「最小値」　：右の目盛りの最小値です。空欄の場合は自動です。

49.「最大値」　：右の目盛りの最大値です。空欄の場合は自動です。

© 2026 SanKei Biz Consulting, Corp.

■「書式設定」タブ：「チャートタイトル 」「凡例」



50.「チャートタイトル 」　：チャートのタイトルを表示します（初期値：オン）。

51. フォント・文字の大きさ・B／I／U・色　：タイトルの文字の書式です。

52.「テキスト」　：タイトルの文字です。入力しない場合は、フィールドから自動で付けられます（例：「営業担当者と地域の、金額の合計と数量の合計」）。入力した文字は、フィールドを変えても変わりません。

53.「位置」　：タイトルの位置（「トップ」（初期値）「ボトム」）です。



54.「凡例」　：凡例（縦棒と折れ線の名前）を表示します（初期値：オン）。

55. フォント・文字の大きさ・B／I／U・色　：凡例の文字の書式です。

56.「タイトル」　：凡例のタイトル（「カラム凡例」のフィールド名）を表示します（初期値：オン）。

57.「テキスト」　：凡例のタイトルの文字です。

© 2026 SanKei Biz Consulting, Corp.

58.「位置」　：凡例の位置（「トップ」（初期値）「ボトム」「右」「左」）です。

59.「幅」　：位置が「右」「左」の場合の凡例の幅（「自動」、10～50%）です。

■「書式設定」タブ：「データラベル」「カラム」



60.「データラベル」　：各棒と折れ線の各点に値を表示します（初期値：オフ）。大きい値は「15.5K」（千単位）のように短く表示されます。

61.「設定を適用する」　：書式を設定する棒・線（「すべて」、凡例の値または折れ線）を選択します。

62. フォント・文字の大きさ・色　：値の文字の書式です（初期値：Arial、12、黒）。



「カラム」は、「第1Y軸」にフィールドがある場合に表示されます。

63.「設定を適用する」　：色を設定する棒（「すべて」または凡例の値）を選択します。

64.「色」　：棒の色です。初期値は凡例の値ごとに決まった色です。

65.「透明度」　：色の透明度（0～100%）です。

66.「ボーダー」　：棒の枠線を表示します（初期値：オフ）。

67. 枠線の「色」　：枠線の色（初期値：白）です。

68. 枠線の「幅」　：枠線の太さ（0～12）です。

© 2026 SanKei Biz Consulting, Corp.

■「書式設定」タブ：「線」

「線」は、「第2Y軸」にフィールドがある場合に表示されます。



69.「設定を適用する」　：書式を設定する線（「すべて」または折れ線の名前）を選択します。

70.「ライン」の「色」　：線の色です。

71.「幅」　：線の太さ（0～12、初期値：3）です。

72.「スムーズ」　：線の曲がり方（0～100、初期値：0）です。0は点を直線で結び、大きくするほどなめらかな曲線になります。

73.「ラインポイントスタイル」　：点の形（「サークル」（初期値）「長方形」「三角形」「スター」など10種類）です。

74.「線のスタイル」　：線の種類（「ソリッド」（初期値）「破線」）です。

75.「ラインステップ」　：「デフォルト」（初期値）は点を結びます。「前に」「後に」「真ん中」は階段状の線になり、値が変わる位置を点の前・後・中間にします。

© 2026 SanKei Biz Consulting, Corp.

◇チャートの例

次の売上データ（一部）から作成した例です。

売上番号	計上日	地域	営業担当者	商品分類	数量	金額
S001	2024/01/01	東日本	青木	食品	1	1000
S005	2024/05/05	西日本	青木	食品	5	5000
S009	2024/03/09	九州	青木	食品	4	2000
...	...	...	...	...	...	...

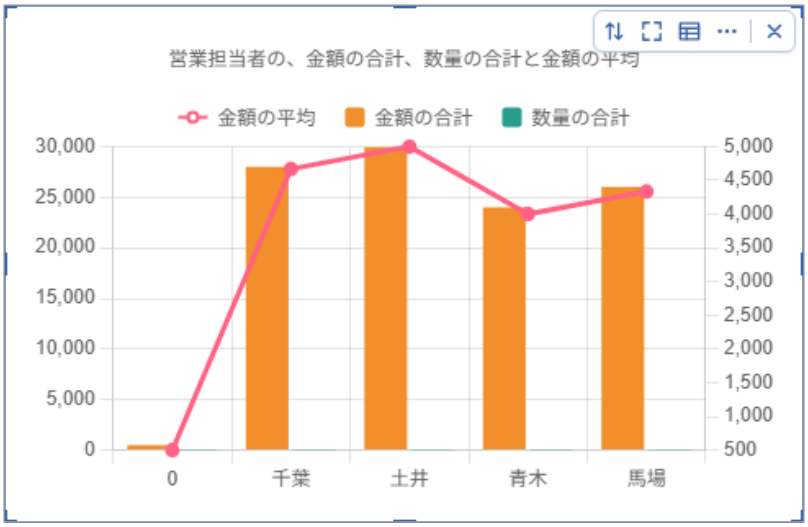
■「カラム凡例」を使用しない場合

第1Y軸：金額の合計、第2Y軸：数量の合計。1色の縦棒と1本の折れ線になります。



■「第1Y軸」に2つのフィールドを使用する場合

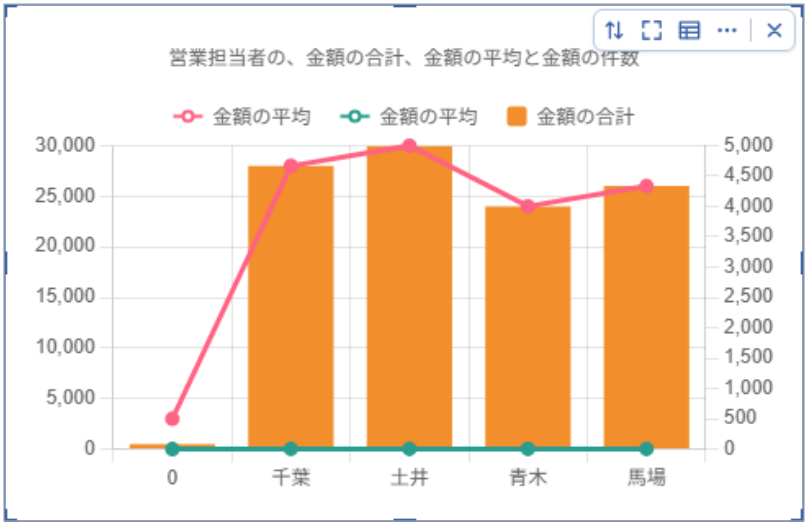
第1Y軸：金額の合計、数量の合計、第2Y軸：金額の平均。フィールドごとの棒が横に並びます。



© 2026 SanKei Biz Consulting, Corp.

■「第2Y軸」に2つのフィールドを使用する場合

第2Y軸：金額の平均、金額の件数。フィールドごとに1本の折れ線になります。



■ 値の大きい順に並べる場合

《軸の並べ替え》で、金額の降順で並べ替えを選択した例です。折れ線の点も、グループと一緒に並びます。



© 2026 SanKei Biz Consulting, Corp.

◇チャートが表示されない場合

軸の設定に誤りがある場合は、チャートの代わりに、チャートの枠の中にメッセージが表示されます。同じページのほかのチャートは表示されます。

※「このビジュアルを表示できません。カラム凡例では、第1Y軸に複数のフィールドが選択されているため、選択できません。」
→「第1Y軸」に2つ以上のフィールドがある場合は、「カラム凡例」を空にします。

※「このビジュアルを表示できません。カラム凡例では1つのフィールドしか選択できません。」
→「カラム凡例」のフィールドを1つにします。

※「このビジュアルを表示できません。フィールド {0} はテーブル {1} に存在しません。」
→ テーブルにないフィールド（削除・名前の変更など）を、軸から外して選び直します。

※「テーブル {0} は存在しません。」
→ チャートのデータにないテーブルです。《インポート》で追加し直します。

※「このビジュアルを表示できません。選択されたテーブルには関係がありません。別のテーブルを選択してください。」
→ 別々のテーブルのフィールドを使用する場合は、「リレーションシップ」でテーブルの関係を設定します。

※「第1Y軸」「第2Y軸」に文字・日付のフィールドを追加した場合は、「件数」で集計されます。

© 2026 SanKei Biz Consulting, Corp.

◇操作ログ

保存すると、チャートごとに次のコマンドが記録されます（共通の部分は「チャートの作成」を参照）。

CREATE CHART TYPE "LINE_AND_CLUSTERED_COLUMN" **TABPAGE** 1 **TABNAME** "Page 1"
X-AXIS TABLE "テーブル" **FIELD** [フィールド] ･･･
COLUMN-Y-AXIS TABLE "テーブル" 集計 **FIELD** [フィールド] ･･･
LINE-Y-AXIS TABLE "テーブル" 集計 **FIELD** [フィールド] ･･･
COLUMN-LEGEND-AXIS TABLE "テーブル" **FIELD** [フィールド]
書式のキーワード ･･･ **WIDTH** 620 **HEIGHT** 400 **CHART-X** 20 **CHART-Y** 20 ･･･

軸と主な書式のキーワードは、次のとおりです。

キーワード	内容
X-AXIS	グループのフィールド
COLUMN-Y-AXIS / LINE-Y-AXIS	縦棒・折れ線のフィールドと集計の方法
COLUMN-LEGEND-AXIS	カラム凡例のフィールド
X-AXIS-･･･	横軸（19～28）
Y-AXIS-･･･	左の縦軸（29～40）
SECONDARY-Y-AXIS-･･･	右の縦軸（41～49）
TITLE-･･･	チャートタイトル（50～53）
LEGEND-･･･	凡例（54～59）
DATALABEL / DATALABEL-FONT	データラベル（60～62）
SERIES "値" ･･･	縦棒の色・枠線（64～68）
SERIES LINE 番号 ･･･	折れ線の色・太さなど（70～75）
･･･-FONT	文字の書式（フォント, 大きさ, 色, 太さ）

※下線部は、その軸にフィールドがある場合に記述されます。
※「TITLE-TEXT」は、チャートタイトルの文字を入力した場合に記述されます。

例

CREATE CHART TYPE "LINE_AND_CLUSTERED_COLUMN" TABPAGE 1 TABNAME "Page 1" X-AXIS TABLE "売上データ" FIELD [営業担当者] COLUMN-Y-AXIS TABLE "売上データ" SUM FIELD [金額] LINE-Y-AXIS TABLE "売上データ" SUM FIELD [数量] COLUMN-LEGEND-AXIS TABLE "売上データ" FIELD [地域] X-AXIS-ROTATE 0 DATALABEL "off" LEGEND-POSITION "top" TITLE-POSITION "top" ･･･ SECONDARY-Y-AXIS-LABEL "on" ･･･ WIDTH 620 HEIGHT 400 CHART-X 20 CHART-Y 20 PAGE-SIZE 1280 720 ･･･

© 2026 SanKei Biz Consulting, Corp.